

# Por um futuro melhor

どの子の未来も明るくなりますように！

ブラジル通信 No.2 2018.10.13



## Boa tarde!! (こんにちは):お昼のあいさつ

### クリチバ市の研修報告(9月25日~10月1日) その1

クリチバ市は、第1号でお伝えしたとおり、パラナ州の州都です。人口約180万人の大きな都市です。都市計画の優れた成功例と言われている、効率的な公共交通システムを有しています。昔は、路面電車が走っていたそうです。道路の真ん中にはバスやパトカーなどの専用レーンがあり、バリアフリー化も図られたチューブ型のバス停があります。バスは、オレンジや緑、白、赤などいろんな色のバスが走っています。調べてみると、機能別に色分けされているらしく、10種類もあるそうです。緑も多く、住みやすい都市ですが、スラムやホームレスも市内のあちこちで見かけました。物乞いをする子どもにもたくさん会いました。

日系人が多い都市で、3万人くらいいると言われていいます。そのおかげで、スーパーにはたくさんの日本食がありますが、日本の3~4倍以上の値段で売られています。例えば、おなじみ「のりたま」のふりかけは、16.4リアル(492円)、海苔あらは、22.5リアル(675円)でした。驚きです！お店の名前は「Bonsai」！

クリチバで便利だと思ったのは、タクシーです。ブラジルには、タクシーのほかに、Uber(ウーバー)という個人タクシーがたくさん走っています。金額は、タクシーの半分です。それと同じように、99ポップ(9はポルトガル語でノーヴェなので、私には「ノビノビ」と聞こえました)というのもあり、両方ともアプリをダウンロードすれば気軽に利用できるインターネット配車サービスです。仕事のないブラジルでは、車一つでドライバーとして登録すれば収入が得られるので、アルバイト的にやっている人も多いようです。目的地もすべてアプリで管理されていて、出発地からの最短ルートを指示されるので、遠回りされたり金額を上乗せされたりすることもないので、とても安心です。呼んでから大体5分以内に来ます。料金も乗車前に決まっています。渋滞しても金額は変わりません。ウーバーと金額を比べて選択することもできます。通訳さんが車の中にジャケットを忘れましたが、それもきちんと戻ってきました。便利で安全なシステムに感動しました。



クリチバ市のシンボルツリー:パラナ松



チューブ型のバス停



### 9月26日(水) パラナ州教育局訪問 「校長先生もこんなに研修を受けるの!？」

パラナ州教育局管理部のリーダーのラウレンシさんに話を聞くことができました。教育局長のジョセ・カルロスさんも一度顔を見せてくださったので、記念写真を撮らせていただきました。

#### ★パラナ州教育局：どの子にも同じ教育・均等な教育を目指している。

⇒そのために、校長先生にも研修が義務付けられている。

- ①パラナ州2,144人の全校長が集まり、研修を受ける
  - ・クリチバ市で4日間合計25時間の研修
- ②インターネットによる研修(9項目から3項目選択)
  - ・各項目は16~20時間くらい

⇒各学校では、校長先生の方針を伝えるための大会議を実施(年2回)

- ・先生方はもちろん、保護者や生徒の代表も出席。



左から秘書・教育局管理部チーフ・教育局長

# Por um futuro melhor

どの子の未来も明るくなりますように！

フラジル通信 No.3 2018.10.14



## Boa noite!! (こんばんは):夜のあいさつ クリチバ市の研修報告(9/25~10/1) その2

### 9月26日(水) パラナ州立パラナ州学校訪問 「受験希望者2万人!？」

学校には日本と同じように、公立(市立・州立・国立)と私立があります。お金がある家庭は、安全で、レベルの高い私立に通わせますが、この学校は州立にもかかわらず、クリチバでとても人気のある伝統校です。人気のある理由としては、

- ① 170年の歴史がある
- ② LABO(研究室)がある
- ③ 学校の敷地面積がとても広い  
(ブラジルにしては珍しく公立なのにプールもある)
- ④ 学校内に「GELEM(言語学校)」があり、生徒は言語を1つ選んで無料で学ぶこともできる。など。



左から生徒会長・校長先生・事務局長

- 一時は5千人の定員に対して希望者が2万人にもなり、試験の準備のための費用と時間がかかるようになったため、2005年以降は、各学校の9歳の成績によって合格の可否を決めることにした。
- 午前・午後・夜間で122クラス、教職員477人のマンモス校。
- 夜間部の授業は、人が集まらない場合には、地域の人や保護者も参加することができる。

訪問した際には、ターニャ校長先生は、生徒会長のマテウスさんと会議をしていました。定期的に生徒たちの考えた様々なプロジェクトについて話し合うそうです。マテウスさんは、先生方の指導や学校のルールなどについて疑問があれば納得するまで話せるので、学校や校長先生をはじめとした先生方のことを信頼していると言っていました。

### 9月27日(木) Bom Jesus 私立学校管理センター訪問(午前) 「先生も評価される!？」

Bom Jesus はブラジル南部に37校あるレベルの高い有名私立学校。

- クリチバにセンター局があり、そこですべてを管理。
- 教科書、独自のカリキュラムや各教科の指導方法、指導方法に関する補助本などもすべて自作し、各校に配付している。
- テストも37校同じものを使っている。
- 評価表が公開されていて、生徒や保護者はネットですべて確認できるため、教師の授業について指摘できるようになっている。教師も評価されるので手が抜けない。
- センター局には、アニメーターやグラフィックデザイナー、出版関係者、臨床心理士などもいて、映像スタジオもあり、とにかく圧倒されるような施設。
- 学校独自の研修システム(PEC=教育をよりよくするプログラムの略称)が高い評価を得ていて、この学校の教育システムなどを提供し、支援している公立学校が15校もある。

この学校の方針は、トップダウンで物事を決めず、みんなで議論し、決めていくこと。カリキュラムや教科書、試験等も、それらにかかわるすべての人に提案し、意見を出し合い、議論し、改善していくので、年々よりよいものになっていくという話が心に残りました。



スカイプを使った会議の様子

### 9月27日(木) Canpolargo市にあるBom Jesus 私立学校訪問(午後) 「学費が1か月9万円!？」

- 生徒数775人(そのうち特別支援学級40人)
- 1日8時間授業×5日=週40時間(全日制)

都会に住む子どもたちに自然の多い場所で様々な体験をしてほしいと願って、クリチバ中心部から車で40分のカンポラルゴ市に牧場学校を設置しました。(1984年) そこでは、栽培・飼育活動、搾乳やチーズ作りなど多くの体験活動を行っていましたが、経営悪化により、英語教育をメインにしたバイリンガルの学校へ移行し、現在に至っています。

学費が全日制の場合、1か月3000リアル(約9万円)で、この他、食費・バス代もかかるので、お金持ちの子どもしか通うことができません。



広大な敷地!  
温水プールもありました!!